

令和6年度 第2回福岡大学病院医療安全監査委員会 講評

改正医療法施行規則に基づき医療安全管理体制整備の確認のため、令和7年1月10日に令和6年度 第2回福岡大学病院医療安全監査委員会を実施しました。今回の監査は、事前に通知した下記の監査事項に沿って監査を行いました。監査結果について、以下に講評します。

日 時：令和7年1月10日（金）14：00～15：10

場 所：Web 会議

【監査委員】

委員長 原 幸治（産業医科大学病院 医療の質・安全管理部長）
委 員 手島 康徳（産業医科大学病院 医療安全管理者 専従看護師）
中村 圭佑（産業医科大学病院 医薬品安全管理責任者 専従薬剤師）
林 覚竜（南蔵院 副住職）

【福岡大学病院出席者】

秋吉 浩三郎（医療安全管理責任者）
小吉 里枝（医療安全管理者 専従医師）
押川 麻美（医療安全管理者 専従看護師）
今村 健（医療安全管理者 医薬品安全管理責任者）
浜内 和也（医療機器安全管理責任者）
樋渡 文雄（医療安全管理部 専従看護師）
中村 伸理子（医療安全管理部 弁護士）
平井 友樹（医療安全・感染管理事務室長補佐）
森田 直輝（医療安全・感染管理事務室）

【監査事項】

1. 初期臨床研修医からのインシデントレポート報告について
2. ハイリスク薬の選定方法とその周知について
3. 病棟や外来における向精神薬の管理方法について
4. IC 取得時の看護師同席状況について

【講評】

1. 初期臨床研修医からのインシデントレポート報告について

初期研修医に対する医療安全教育講習においてインシデントレポートの意義と報告方法の説明が行われていること、初期臨床研修医が関与したインシデントについて医療安全部門から報告を促していることを確認しました。一方、68名の初期臨床研修医に対して年間の報告件数が15件に留まっていることに関しては改善の余地があると思われます。卒後臨床研修センターと協同し、医療安全活動の評価として一定数のインシデントレポート報告を修了認定の要件にすることも検討されてはいかがでしょうか。

2. ハイリスク薬の選定方法とその周知について

ICUなどを除き、原則として一般病棟には麻薬・毒薬・抗悪性腫瘍薬・覚せい剤原料を定数配置しないことが「医薬品の安全使用のための業務手順書」において定められ、適宜配置品目・数量の見直しが行われていることを確認しました。

ハイリスク薬のリスクの周知方法として、医師、臨床研修医、看護師に対して医薬品安全管理責任者による研修会が行われているほか、要望に応じて病棟看護師に対して病棟薬剤師による勉強会が各病棟で行われていることを確認しました。研修会の内容については新人看護師に対してだけでなく、オンデマンドによる新人以外の看護師の視聴も可能としており、継続したリスク周知が行われている点は評価できます。

また、ハイリスク薬の中でも特に注意すべきとされる医薬品として糖尿病治療薬・抗てんかん薬・抗悪性腫瘍薬・強心薬・ワーファリン等を定めており、適正使用に関して情報提供が行われていることを確認しました。

ハイリスク薬の個別リスクについては、病棟薬剤師による勉強会が行われていますが、情報の周知・定着には時間を要するため、今後も積極的な情報提供が望まれます。

3. 病棟や外来における向精神薬の管理方法について

病棟に配置される向精神薬について適宜見直しが行われており、特に睡眠薬は配置されていないことを確認しました。また病棟に配置されている向精神薬については、他の医薬品とは別の管理簿が用いられ、定時と使用時の記録が残るようになっており、紛失などのリスク管理がなされていることは高く評価されます。

向精神薬以外の定数配置薬についても、湿布など急を要さない医薬品は撤去されており、紛失のリスクを減らしていることも確認できました。また、薬品保管室は監視カメラを備えカードキーによる入室管理が行われているうえ、保管庫自体も施錠されており、夜間など人手が少ない状況での紛失・盗難などのリスク管理が十分に行われていることが確認できました。今後も病棟薬剤師の積極的な関与による定数配置薬の定期的な見直しが継続して行われることを期待します。

4. IC 実施時の看護師同席状況について

診療科ごとに看護師長と病棟医長が毎月 5 名の診療録を選び、25 診療科/125 名の診療録についてインフォームドコンセント委員会が「IC 記録監査」を行い、その中で看護師の同席率が 70～80%であることを確認しました。同席できなかった場合には、後で患者に説明はどうであったか確認しているとのことでした。看護師の同席率を上げる取り組みとして、院内統一書式の「インフォームドコンセント予定表」を用いて、IC の予定日時・目的・出席者の情報が共有されていました。また、外来で IC が行われる際に、病棟看護師が外来に出向いて同席する場合もあるとのことでした。看護師同席率の向上に積極的に取り組まれていることを確認しました。

以上

令和 7 年 1 月 29 日

福岡大学病院医療安全監査委員会

委員長 原 幸治

(産業医科大学病院 医療の質・安全管理部長)